

第11回教育研究推進センター講演会

「マイクログリア/マクロファージの起炎症性 活性化とその制御」

日時：平成26年7月16日(水曜日) 17時30分-18時30分

会場：旭川医科大学
臨床第3講義室

演者：愛媛大学大学院医学系研究科
分子細胞生理学

教授 田中 潤也 先生

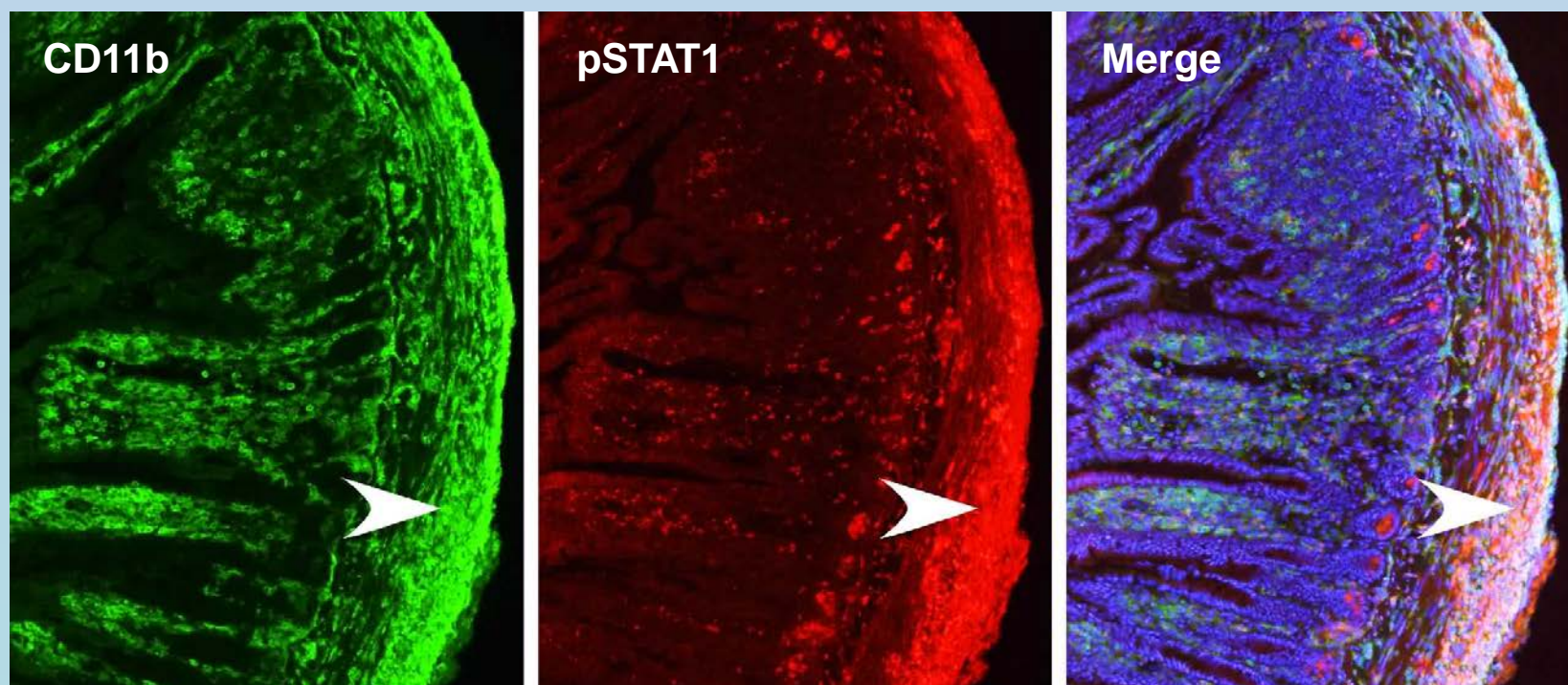
ABSTRACT

Toll様受容体(TLR)からの起炎症性シグナルは、感染性の疾患のみならず、無菌的な組織傷害時においても、免疫系活性化に重要な役割を果たしている。我々は、TLR4リガンドのLPSが誘発する脳常在性マクロファージであるマイクログリアの活性化や腹膜炎誘発敗血症における末梢マクロファージの活性化シグナル伝達経路およびその制御に関し、ラットを用いた研究を行ってきた。

今回は、TLRシグナルがNF κ Bの核内移行を誘発し、次いでJAK/STAT活性化によるinterferon regulatory factor (IRF)の発現上昇を介した起炎症性活性化経路とその抑制を行う薬物に関する研究結果を紹介したい。

* 多数の方のご参集をお待ちしています。

ラット腹膜炎誘発敗血症モデル(盲腸結紮穿孔モデル)作成8時間後の回腸末端部



なお、セミナーを撮影したビデオを学内限定で公開させていただきます事をご了承下さい。

主催：教育研究推進センター
連絡先：船越 洋（内線2886）